

# 2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

---

株式会社ナガワ

東証一部：9663

2017年7月24日

# 目次

---

## 平成29年度 第1四半期 (平成29年4月1日～平成29年6月30日) 業績の概況

TOPIX	2
連結 決算概要	3
セグメント別：連結売上高／営業利益	5
セグメント別：概況	8
連結 設備投資／減価償却費	11

## 参考資料

連結 貸借対照表	22
----------	----

平成29年度 第1四半期

(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

# 業績の概況

## 建設市場全般

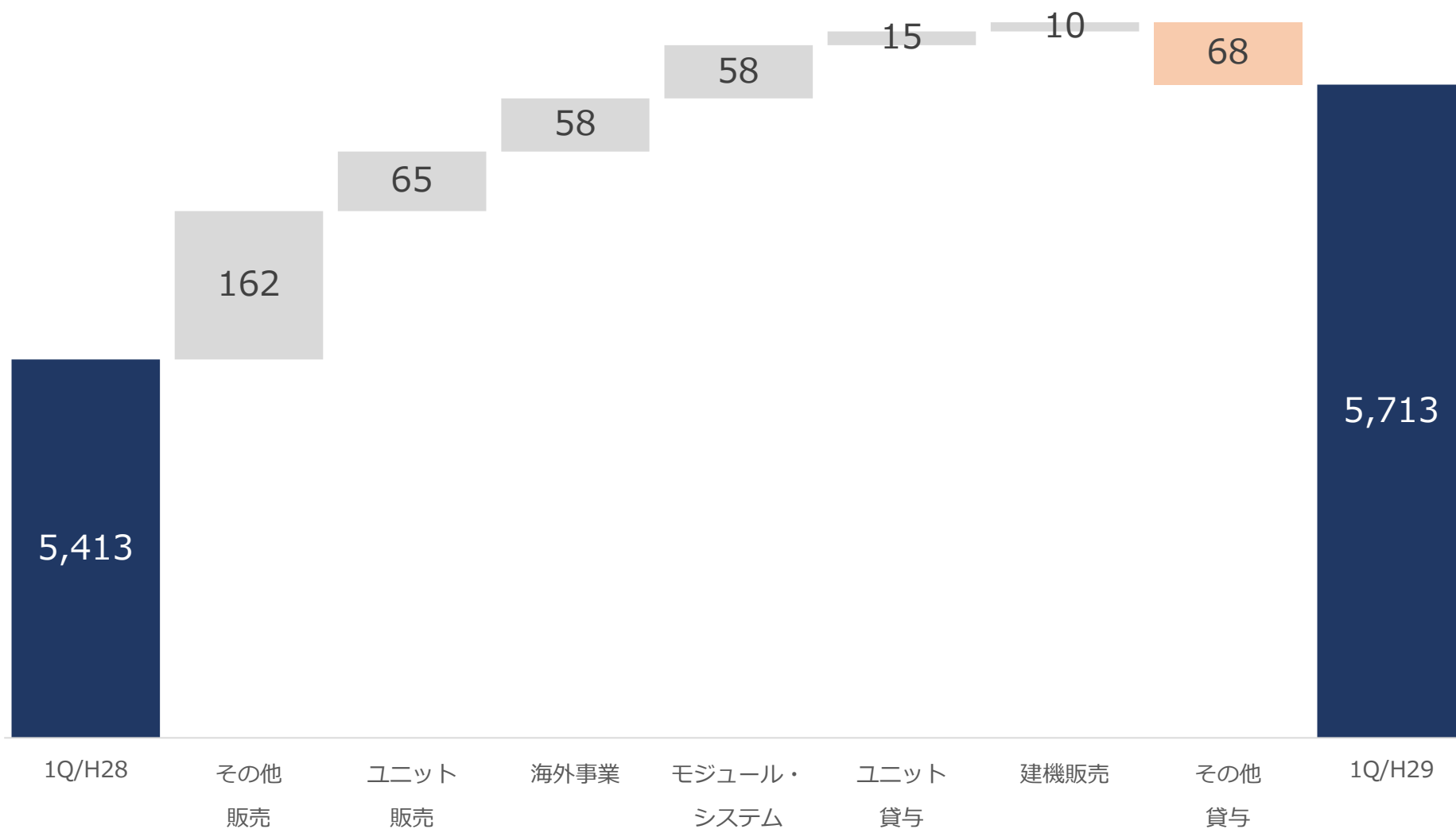
2017年度の建設投資は、前年度の52兆1,900億円と比較し、△1.0%の51兆6,500億円となる見通しである。政府建設投資がほぼ横ばいであることに比べ、民間住宅投資は貸家の減少に加え、分譲マンションも前年ほぼ横ばいであると予測されることから、前年度比較で住宅建設投資は△1.2%、住宅着工戸数は△3.5%の見通し。民間非住宅建設投資は、前年度比較で△1.8%になる見通し。

## 主な取組み

1. モジュール・システム建築における全国上位地場ゼネコンとの請負体制の協業展開強化
2. 海外事業における既存進出国の単年度黒字化と、東南アジア地域への次期出店国模索
3. 全国スマイルステーション（展示場）のサテライト出店加速
4. 北海道建設機械事業における高収益機械への投資加速
5. 全国デポセンターの自社地化の推進

	1Q/H27	1Q/H28	1Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
売上高	5,381	5,413	5,713	300	5.54	5,590	123
営業利益	588	418	732	314	75.12	550	182
経常利益	560	477	780	303	63.52	600	180
親会社株主に帰属する四半期純利益	308	291	501	210	72.16	350	151
総資産	35,648	36,944	39,111	2,167	5.87	—	—
純資産	31,815	33,178	35,294	2,116	6.38	—	—
自己資本比率 (%)	89.2	89.8	90.2	0.4	0.49	—	—
1株当たり純資産	2,291.03	2,406.76	2,578.45	171.69	7.13	—	—

(単位：百万円)



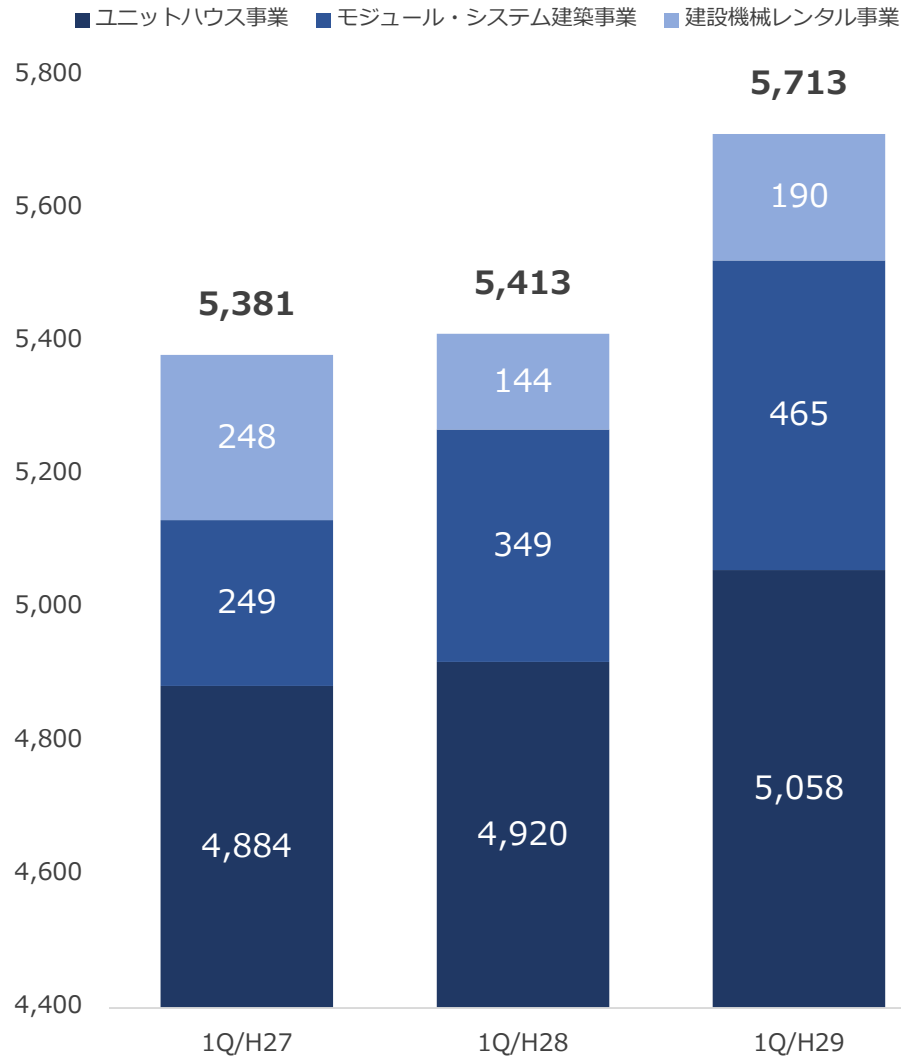
売上高	1Q/H27	1Q/H28	1Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	4,884	4,920	5,058	138	2.80	5,135	▲ 77
モジュール・システム建築事業	249	349	465	116	33.24	390	75
建設機械レンタル事業	248	144	190	46	31.94	255	▲ 65
合計	5,381	5,413	5,713	300	5.54	5,590	123

(単位：百万円)

営業利益	1Q/H27	1Q/H28	1Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	709	585	840	255	43.59	775	65
モジュール・システム建築事業	▲ 26	▲ 37	10	47	▲ 127.03	▲ 35	45
建設機械レンタル事業	▲ 18	▲ 42	▲ 7	35	▲ 83.33	▲ 5	▲ 2
全社又は消去	▲ 77	▲ 88	▲ 111	▲ 23	26.14	▲ 75	▲ 36
合計	588	418	732	314	75.12	550	182

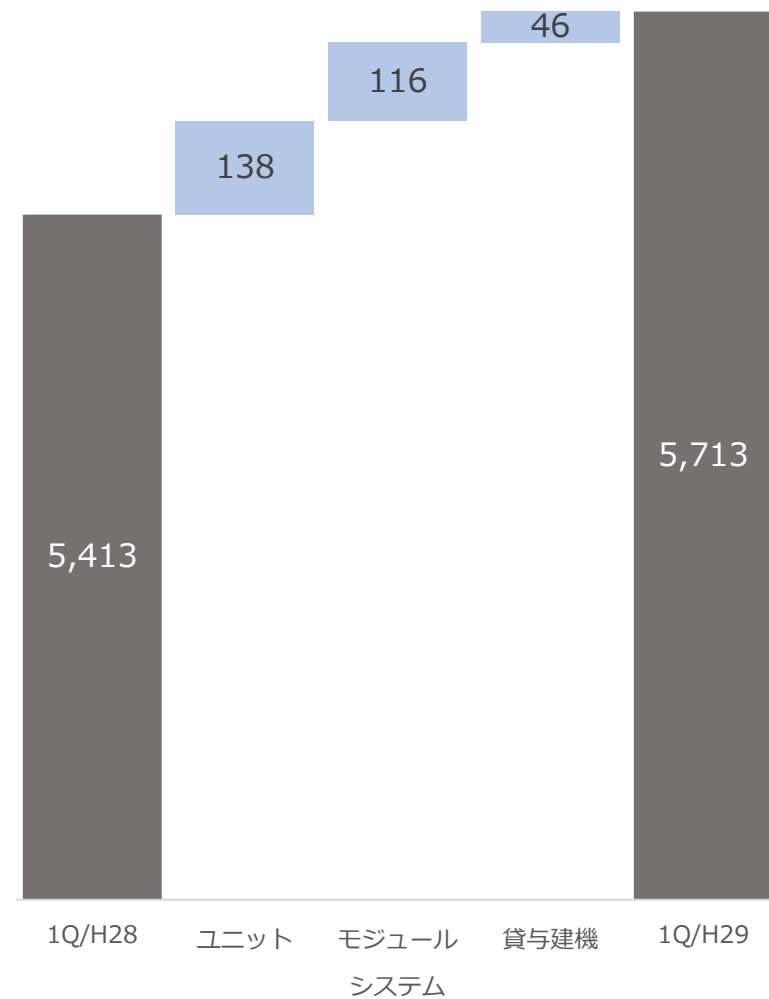
(単位：百万円)

セグメント別売上高推移



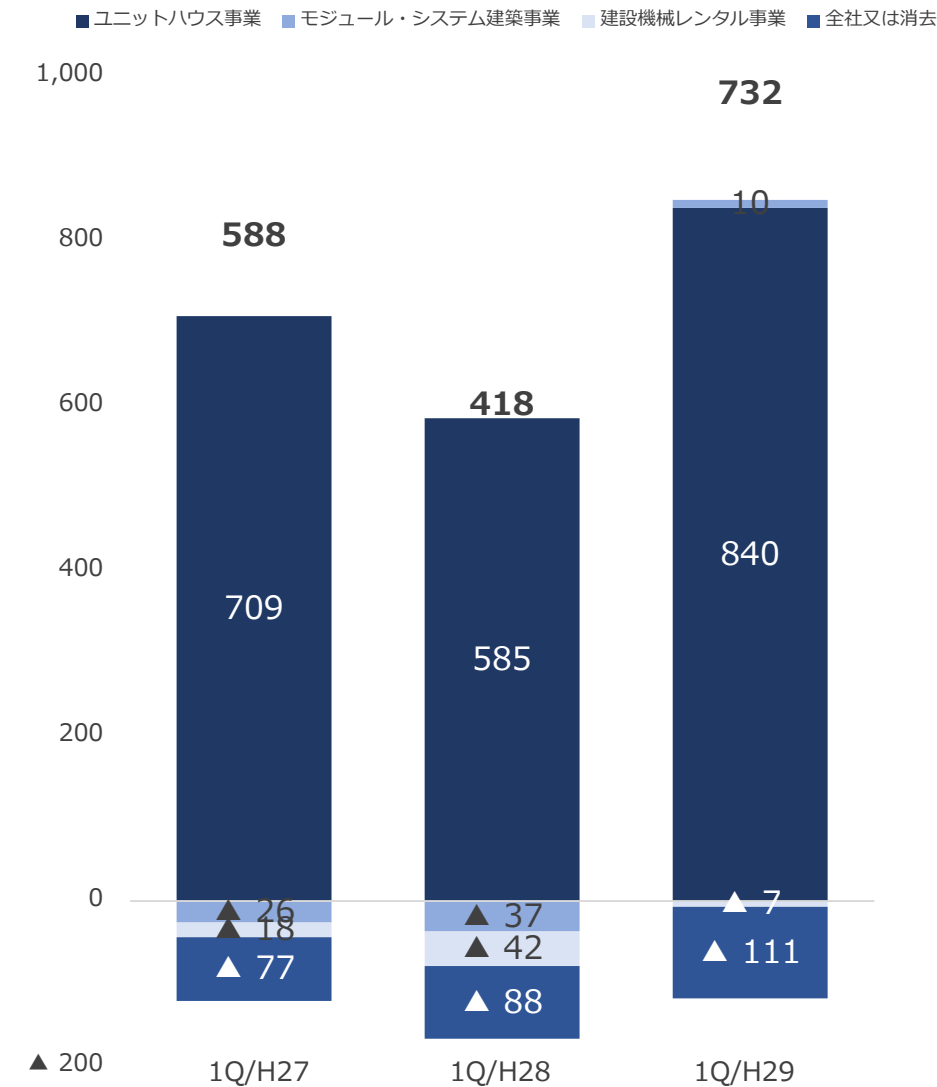
セグメント別売上高増減

(単位：百万円)

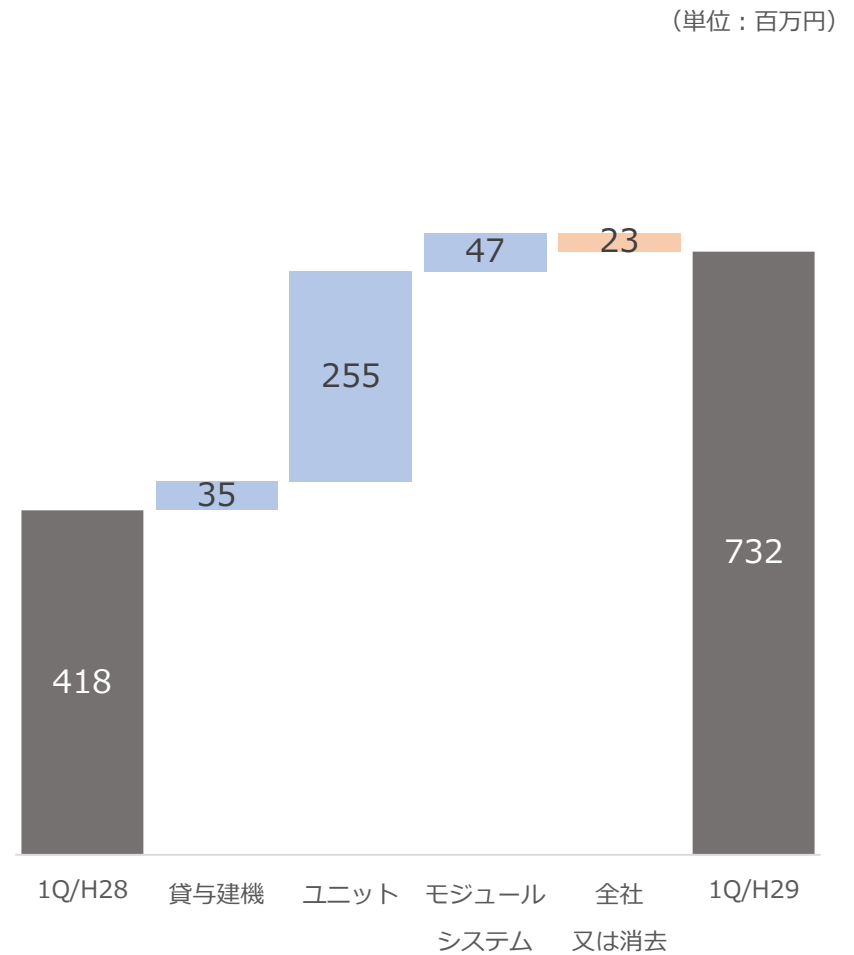




セグメント別営業利益推移



セグメント別営業利益増減



## ユニットハウス事業

(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
5,058	138	▲ 77	840	255	65

### 販売

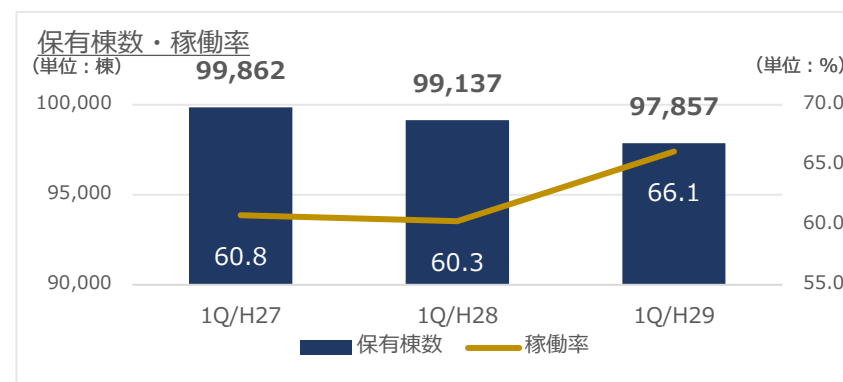
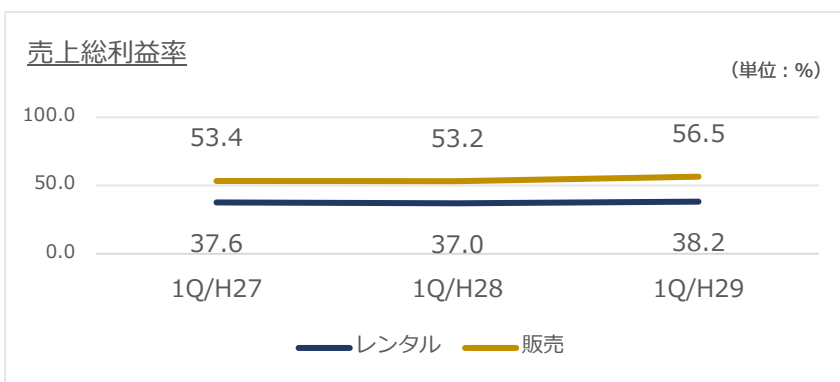
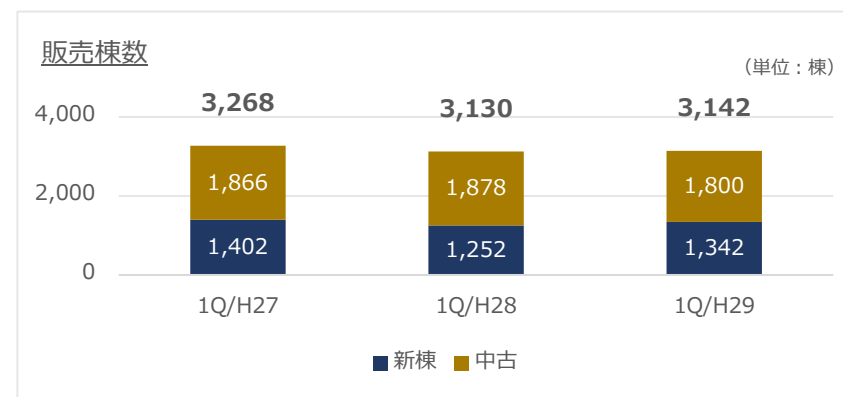
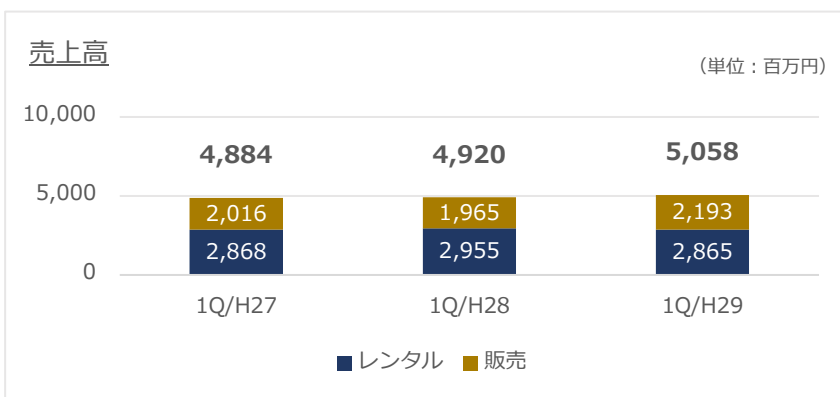
販売棟数はほぼ前年並み。期初からの中古販売キャンペーン効果で、中古販売が増加している。

売上高については増収を確保し、中古販売増加により粗利益率も3ポイント向上している。

### レンタル

前年度のサミット関連大型レンタル案件の剥落により若干の減収とはなっているが、建設現場向けレンタルは好調に推移。

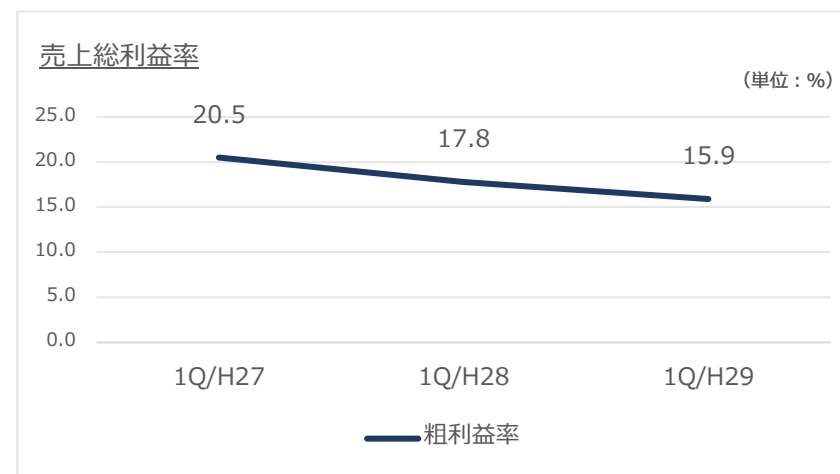
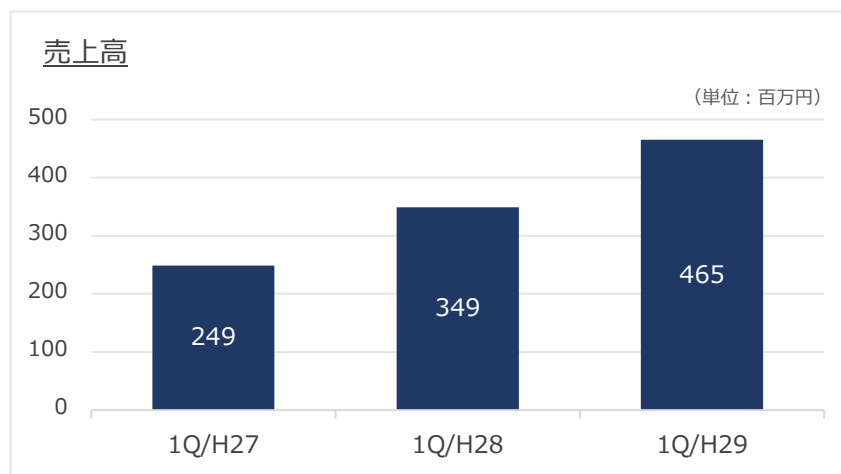
地区別にみても、ほぼすべての地区にて稼働棟数増加となっている。



モジュール・システム建築

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
465	116	75	10	47	45

積極的な営業活動により、完工高は増収となっている。第2四半期以降は、豊富な受注残高と官公庁案件の増加により、好調を維持する見込み。利益面では、工事粗利益率は減少しているものの、前記と比較し効率的な技術者の活用が寄与し、第1四半期で利益計上を確保している。



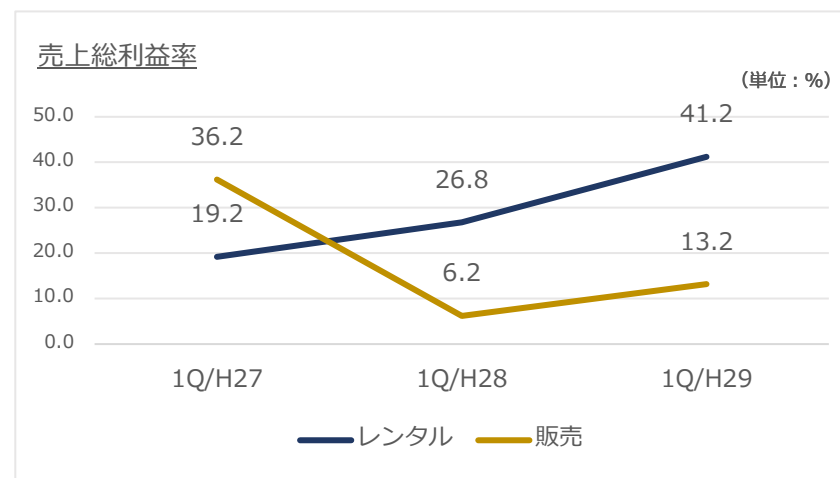
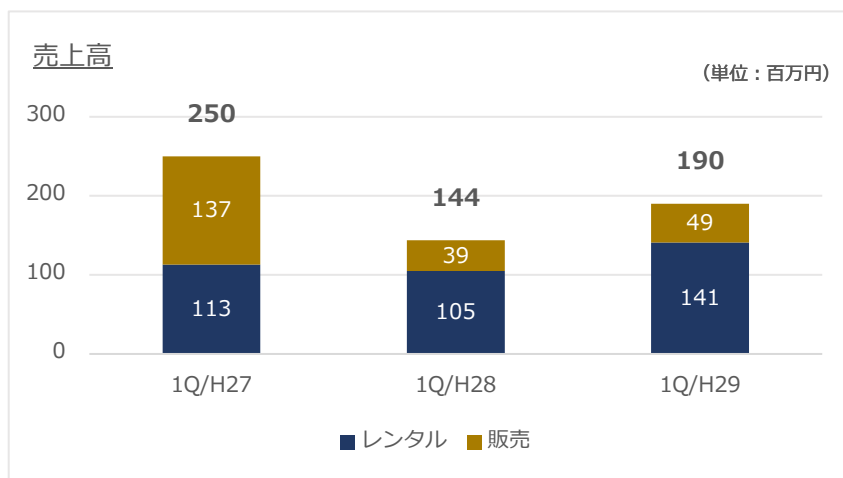
建設機械レンタル事業

北海道内の建設工事は、災害の復旧予算と合わせ、各地区の民家設備投資がやや改善してきている。このような環境下で地域密着型の受注活動を継続した結果、レンタルにおいて増収を確保しており、好調が続いている。

利益面においては、適正投資および高採算機種への投入による粗利益率の改善が顕著であり、大きく増益となっている。

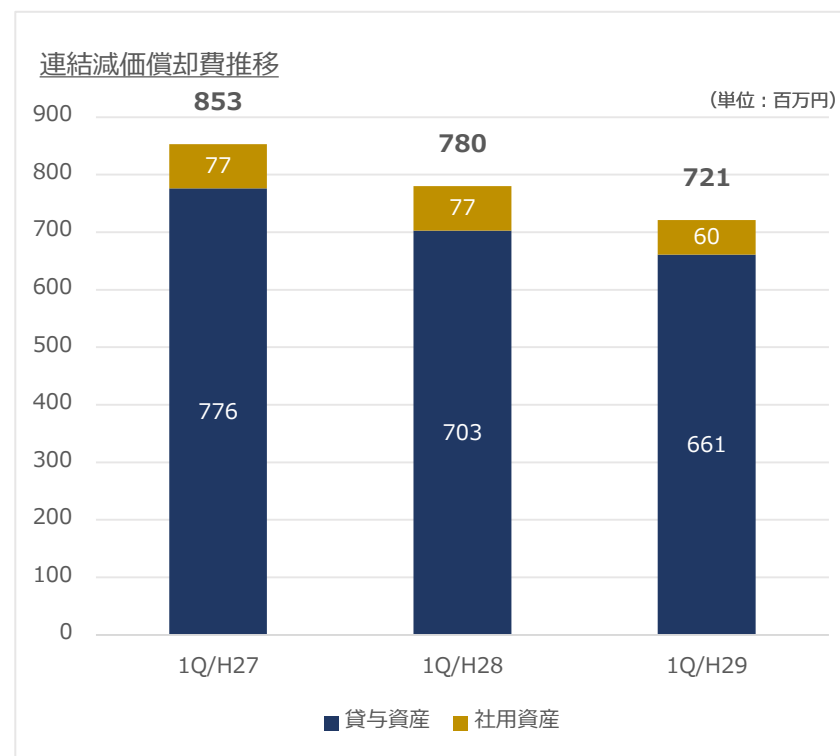
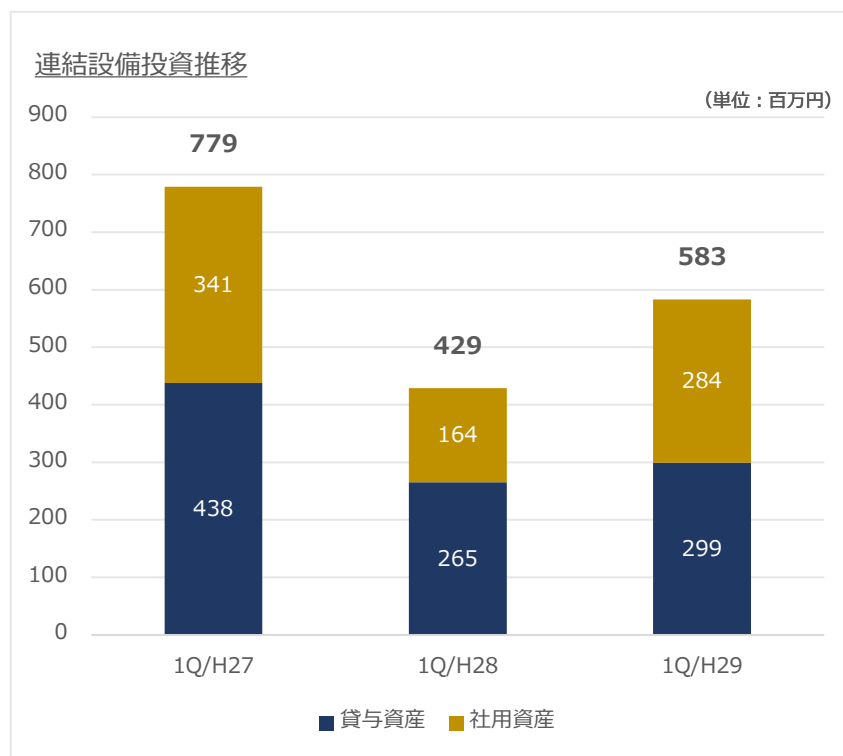
(単位：百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
190	46	▲ 65	▲ 7	35	▲ 2



設備投資/減価償却費

貸与ハウス投資は若干増加しているが、第1四半期はモジュール生産に追われており、本格的な増産効果は第2四半期以降に  
ずれ込む予定。社用資産では、静岡県に自社地デポセンターを取得。



# 参 考 资 料

## 連結 決算概要

	H27年度	H28年度	H29年度 1Q/H29
現金及び預金	9,126	11,382	11,612
受取手形及び売掛金	7,291	7,398	6,387
商品及び製品	1,969	1,517	1,739
その他	606	542	758
流動資産合計	18,992	20,839	20,496
貸与資産	9,986	9,124	8,757
建物及び構造物	1,830	1,695	1,653
土地	6,585	6,610	6,865
その他	319	242	285
有形固定資産合計	18,720	17,671	17,560
無形固定資産	120	101	93
投資その他の資産	939	959	962
固定資産合計	19,781	18,732	18,615
<b>資産合計</b>	<b>38,773</b>	<b>39,571</b>	<b>39,111</b>

	H27年度	H28年度	H29年度 1Q/H29
買掛金	1,895	1,631	1,332
その他	2,845	2,375	2,257
流動負債合計	4,740	4,006	3,589
固定負債	205	240	227
負債合計	4,946	4,247	3,816
資本金	2,855	2,855	2,855
利益剰余金	28,945	31,223	31,177
その他	1,891	1,201	1,202
株主資本合計	33,691	35,279	35,234
その他の包括利益累計額	135	44	61
純資産合計	33,827	35,324	35,295
<b>負債純資産合計</b>	<b>38,773</b>	<b>39,571</b>	<b>39,111</b>



# NAGAWA

## Social Creation Company

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。